

～会計を通じて人に幸せを～

# Hirai's レビュー

2010年1月号 (No. 13)

**平井会計事務所 税理士 平井満広**  
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1  
 芝浦アイランドエアタワー1704号  
 電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350  
 Mail:m\_hirai@hirai-ao.com  
 URL:http://www.hirai-ao.com/

## 計画実現には現状分析から！ 分解と集約で傾向を把握する

あけましておめでとうございます！本年もよろしくお願いたします。良い1年を過ごすためには計画の立案がオススメです！必ずその前に昨年を振り返りましょう。

### ◆損益計算書の分析

社員の目標意識を高めるために、中小企業でも年間計画を立てる会社が増えてきました。

しかし単なる数字合せの計画では現実とかけ離れてしまうなどあまり意味がありません。実現可能な計画を立てるため

売上	10,000万円
粗利	3,000万円
経費	2,800万円
利益	200万円

にまずは前期の決算書、とくに損益計算書を分析して現状の傾向を把握することからはじめましょう。

### ◆売上と粗利の分析

損益計算書の売上には総額が記載されているだけなので、細かい内容が分かりにくくなっています。売上を分析するため、まず金額を『単価』と『数量』とに分解しましょう。『単価』は商品やサービスに応じて2~5種類に、『数量』は得意先や地域に応じて3~10種類に分類します。粗利は商品やサービス毎の平均粗利率での概算計算で充分です。

商品名	平均単価	販売量				売上	粗利	平均粗利率
		A社	B社	C社	小計			
商品①		万個	万個	万個	万個	万円		
商品②		万個	万個	万個	万個	万円		
合計		万個	万個	万個	万個	10,000万円	3,000万円	30%

例えば先程の損益計算書の売上や粗利を分析する場合にはまず、上記のようなシートを作成します。今回はタテ欄に商品を2種類、ヨコ欄に得意先を3種類としました。

作業の順番は次のとおりとなります。

- (1) 商品①と商品②の売上欄を埋める
  - (2) 商品①と商品②の平均単価を埋める
  - (3) 商品①と商品②の販売量小計を計算する
  - (4) 商品①と商品②の各得意先の販売量を埋める
  - (5) 商品①と商品②の平均粗利率を埋める
  - (6) 商品①と商品②の粗利を計算する
  - (7) 商品①と商品②の粗利が粗利合計と一致すればOK
- 作成のポイントはズバリ“完璧を求めない”です。分類の数が多きほど細かく分析できる反面、手間がかかります。自社の情報管理レベルに合わせて無理せず作成しましょう。

### ◆経費の分析

損益計算書の経費(販売費及び一般管理費)は科目(内容)別に記載されていますが、科目が多すぎるので慣れない方にはかえって分かりにくいことがあります。経費を分析する場合は科目を次の3つの項目に集約するのがおすすめです。

- 『変動費』…売上の増減に合わせて金額が増減する費用
  - 『固定費』…金額の増減が少ない費用
  - 『臨時費用』…売上等に関係なく、たまたま発生した費用
- それぞれの項目は必要に応じていくつかに分類します。

例えば『固定費』は、人件費・減価償却費・家賃など金額の大きい科目は独立させ、それ以外の科目はその他にまとめるのもよいでしょう。先程の損益計算書の経費を分析する場合には右記のようなシートを作成します。作業の順番は次のとおりとなります。

内 訳		金 額
変 動 費		万円
固 定 費	人 件 費	万円
	減 価 償 却 費	万円
	家 賃	万円
	そ の 他	万円
臨 時 費 用		万円
合 計		2,800万円

- (1) 人件費、減価償却費、家賃を埋める
- (2) 変動費を埋める
- (3) 臨時費用を埋める
- (4) 差額をその他にする

### ◆現状分析ができれば計画も具体的に

商品名	平均単価	販売量				売上	粗利	平均粗利率
		A社	B社	C社	小計			
商品①	@200	15万個	10万個	5万個	30万個	6,000万円	1,200万円	20%
商品②	@100	20万個	10万個	10万個	40万個	4,000万円	1,800万円	45%
合計		35万個	20万個	15万個	70万個	10,000万円	3,000万円	30%

実際の金額を埋めたのが上と右の表です。これらの分類や集約だけでも採算のよい商品や得意先、削減しやすい経費などの有益な情報が得られます。この情報を参考にすれば計画

内 訳		金 額
変 動 費		500万円
固 定 費	人 件 費	1,500万円
	減 価 償 却 費	150万円
	家 賃	300万円
	そ の 他	50万円
臨 時 費 用		300万円
合 計		2,800万円

も現実的・具体的になります。計画倒れにならないため、はやる気持ちを抑えてまずは現状分析からはじめましょう。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒[http://blog.goo.ne.jp/hirai\\_tax/](http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/)